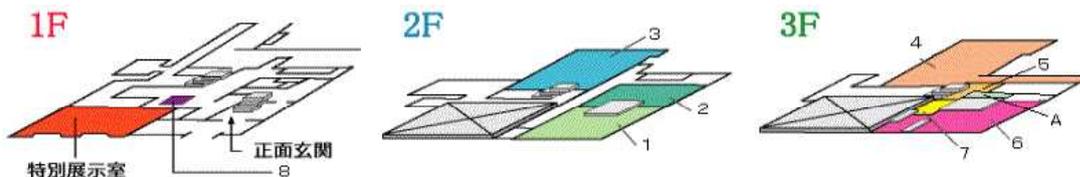


# 長期休館前(2020年10月20日)までの展示室と常設展

※ 2020年10月20日当時のホームページの内容を以下に示します。

## I 展示室

8つの常設展示室(1～8)と1つの特別展示室があります。展示室1～7は新館、展示室8・特別展示室は旧館にあります。旧館は青森銀行旧本店の建物を利用しています。



## II 常設展示室

常設展示室では本県の考古・民俗資料、歴史や自然、郷土の先人たちなどを紹介しています。

- 1 第一展示室【考古展示室】～先史文化の謎を秘める青森～
  - 2 第二展示室【自然展示室】～四季をうたう青森の自然～
  - 3 第三展示室【歴史展示室】～波乱に満ちた郷土の歩み～
  - 4 第四展示室【民俗展示室】～庶民の暮らしとそのころ～
  - 5 第五展示室【りんご展示室】～りんごと青森県～
  - 6 第六展示室【郷土学習室】～わくわくたいけんルーム～
  - 7 第七展示室【先人展示室】～輝いた郷土の先人たち～
  - 8 第八展示室【風韻堂展示室】～風韻堂コレクション～
- A 成田彦栄コーナー

## III 特別展示室(大ホール)

特別展示室では企画展示を行っています。

## Ⅱ 第一展示室 【考古展示室】～先史文化の謎を秘める青森～

旧石器時代～弥生時代までを扱っています。旧石器時代から縄文時代への移行を考える上で重要な位置を占める大平山元遺跡、本県に花開いた縄文文化のなかでも重要な遺跡である亀ヶ岡遺跡、三内丸山遺跡、稲作の伝播を考える上で重要な砂沢遺跡（弘前市）、垂柳遺跡（田舎館村）など県内各地の遺跡・出土品を紹介しています。



透光器土偶《複製》亀ヶ岡遺跡

## Ⅱ 第二展示室 【自然展示室】～四季をうたう青森の自然～

世界遺産「白神山地」のブナ林など、豊かな自然に恵まれた青森県。本県に生息する動物・植物・昆虫などを、ジオラマや標本・剥製で紹介しています。昭和 59 年(1984)、青森市に落下した「青森隕石」は宇宙からのプレゼント。岩木山が海の底だったことを物語る「イワキサクジラ」の化石。地質年代や鉱物など、地球の歴史と青森県の関係を知ることができます。



自然展示室の様子



ナウマンゾウの模型

### Ⅱ 第三展示室 【歴史展示室】～波乱に満ちた郷土の歩み～

奈良時代から現代まで、時代を追って本県の歴史を体感できます。蝦夷（えみし）と呼ばれた人々は、いったいどんな人たちだったのか。鎌倉・室町・戦国の武士は、農民は、どんな信仰を持っていたのか。江戸時代の津軽領・南部領では、どんな生活が営まれていたのか。明治・大正・昭和を経て、青森県はどうかわってきたのか。さらに、北方世界との関係を展示に盛り込んでいます。



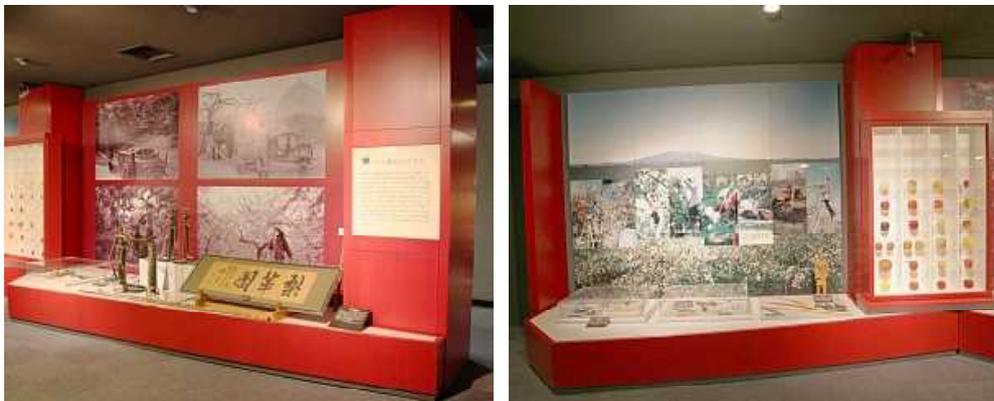
### Ⅱ 第四展示室 【民俗展示室】～庶民の暮らしとそのころ～

本州最北に位置する青森県。厳しい気候で知られています。しかし、その風土が生み出した生活は、実に豊かなものです。農具やコギン刺しの上着から、日々の暮らしの様子が想像できます。オシラサマやイタコの信仰など、人々の心のよりどころを紹介します。



## Ⅱ 第五展示室 【りんご展示室】～りんごと青森県～

りんごは青森県の基幹産業です。全国の生産量の約半分を占めます。しかし、産地としての地位が確立するまでには苦労の連続。品種改良・技術改良の努力が、青森りんごのブランドを築いたのです。ここでは、多様な品種と栽培技術の変遷を見ることができます。



## Ⅱ 第六展示室 【郷土学習室】～わくわくたいけんルーム～

子どもたちの興味や関心を引き出す「体験ルーム」です。自由に触れることができる昔の道具やおもちゃ、化石、体験用の着物などを取り揃えています。懐かしい昭和のレコードも聞くことができ、大人の方もお楽しみいただけます。本棚にある郷土に関する図書や図鑑も自由にご覧いただけます。

その他、囲炉裏やイスがありますのでおかけになってごゆっくりおくつろぎください。

なお、ミュージアム探検隊や各種クイズラリーの丸つけはこちらの展示室のカウンターで行います。



## Ⅱ 第七展示室 【先人展示室】～輝いた郷土の先人たち～

独特の感性を板木にぶつけ、自らの作品を「板画」と呼んだ棟方志功。本格的な声楽家から歌謡界に転じ、偉大な足跡を残した淡谷のり子。本県の発展に貢献した「郷土の先人」を紹介します。



植物生態学者 郡場寛のタイプライター

## Ⅱ 第八展示室 【風韻堂展示室】～風韻堂コレクション～

大高興氏から寄贈された縄文時代晩期の出土品を中心とする風韻堂コレクションの展示室です。コレクションの総数はおよそ1万2千点におよびます。本コレクションのうち、亀ヶ岡遺跡から出土した優品 60 点余が県重宝に指定されており、亀ヶ岡遺跡の出土品が各地に散逸する中、地元に残された貴重な資料となっています。室内の扁額は、「風韻堂」の命名者・棟方志功が揮毫したものです。第一展示室（考古展示室）とあわせて、縄文の美をご鑑賞ください。



風韻堂展示室内部



遮光器土偶(三戸町八日町遺跡出土)

## Ⅱ 成田彦栄コーナー

青森県の文化財保護に尽くした成田彦栄氏の業績と、氏のコレクションの一部を紹介しています。